



SAPPORO

第 **92** 期 株主通信

2015年1月1日から2015年12月31日まで

サッポロホールディングス株式会社

ごあいさつ

創業140年を節目に、独自の「食品企業グループ」形成を目指します

トップインタビュー

次の10年を見据えて、歩み続けます

特集

創業140年のあゆみ

サッポログループ トピックス

サッポログループのCSR活動



ごあいさつ

# 創業140年を節目に、 独自の「食品企業グループ」形成を 目指します

サッポログループは本年創業140年を迎えました。歴史を誇りとしながら、さらに創業150年を迎えるまでの10年で、これから世界の消費者が求める、明るく、楽しく、豊かな時間と場を提供し続ける、独自の「食品企業グループ」を形成していきたいと考えています。商品やサービスに限らず、オンリーワンを提供する取り組みを重ねることで、世界で評価され信頼される食品企業を目指していきます。

本年は、創業140年というだけでなく、サッポロビール園開園50年、ワイン事業開始40年にあたります。焼酎事業開始から、またスリーマン社もグループに加わってから10年を迎えるなど、各所で節目となる年です。サッポログループが輝きを増す、飛躍の足掛かりとなる年にしていきますので、株主の皆様には、変わらぬご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 グループ CEO

上條 努



# 次の10年を見据えて、歩み続けます

Q1 2015年度の決算に関する評価をお聞かせください。

A 増収減益ながら、全事業で2年連続の黒字となり、ポートフォリオ強化が進みました。

国内外における各事業の展開が概ね順調に進捗しており、当期は6年連続の増収、2003年のホールディングス体制移行後、過去最高の売上を達成することができました。北米・東南アジアを中心とする海外売上高比率は酒税抜きで、22.6%と過去最高となりました。利益面では、残念ながら前期比7億円の営業減益となりました。これは、国内酒類事業において、新ジャンルと発泡酒の売上数量が、競争激化等の影響から第1四半期に落ち込み、その後、売上伸長と経費節減に努めたものの、当初計画に届かなかったことが主な要因です。

具体的な取り組みにおいて、当期は「ビール」の強さが際立ってきており、次年度以降につながる成果を上げたと考えています。

また、他の事業においても、成果が順調に積み上がってきました。国際事業では、北米市場において10年前に買収したスリーマン社とのつながりが、アメリカでの29年連続アジアビールNo.1に結びつくなど、堅調に推移していることに加え、ベトナムにおいても「サッポロプレミアムビール」の全面リニューアルを行い、好調な立ち上がりとなっています。食品・飲料事業では、強みであるレモン、スープを中心とした主力ブランドが好調を持続しました。また、豆乳事業に参入するなど、事業領域の拡大にも取り組んでいます。外食事業では、基幹業態「銀座ライオン」「エビスバー」が好調に推移するなか、日本ワイン\*「グランポレール」の魅力を発信するコンセプトショップを銀座にオープンし、新たな挑戦もスタートしております。不動産事業では、「恵比寿ガーデンプレイス」のオフィス棟の稼働率が99%に回復し、収益基盤が整ってきました。

\* 日本ワイン：日本国内で栽培され収穫されたぶどうのみを用いたワイン



海外売上高比率(酒税抜き)の推移(%)



## トップインタビュー



協働契約栽培イメージ



ホワイトベルグ



コーポレートマーク  
「日経リサーチアワード 信頼のロゴマークTOP10  
コンシューマー部門」2位受賞

Q2

特にビールの強さが際立ってきたということですが、国内酒類事業についてももう少し詳しく聞かせてください。

A

**ビールを愛する皆様を見つめ、ビール文化の醸成にエネルギーを注いでいきたいと考えています。**

「サッポロ生ビール黒ラベル」が缶を中心に大きく伸長し、21年ぶりに前年の販売数量を上回り、「エビス」ブランドも底堅く推移。また、発売30周年を迎えた「サッポロクラシック」は、15年連続売上アップを達成しました。ビール原料である大麦とホップの育種、そして直接世界の産地に赴いて、生産者と畑から安全・安心で高品質な麦芽とホップをつくり上げる、当社独自の原料調達システム「100%協働契約栽培」の取り組みが、お客様からの信頼の基礎となっているものと自負しています。また、新ジャンル商品「ホワイトベルグ」は、世界的に著名なiTQi(国際味覚審査機構)優秀味覚賞 三ツ星を2年連続で受賞。さらに、日本ワイン「グランポレール」をはじめ、「ペンフォールズ」やシャンパーニュ「テタンジェ」などのファインワイン(中高級ワイン)を強化するなど、ビール以外の酒類も強化する「多層化」を進めました。

そうしたなか、サッポロビール社のコーポレートマークが「日経リサーチアワード 信頼のロゴマークTOP10 コンシューマー部門」において2位を受賞しました。

ビールについては、ビールを愛する皆様を見つめ、ビールに関してより深い理解をいただけるよう、ビール文化の醸成に今後もエネルギーを注いでいきたいと考えています。また、創業140年となる本年は、創業地の札幌にある「サッポロビール博物館」を4月にリニューアルオープンし、お客様への感謝の気持ちを込めて、当時のビールを再現した「復刻札幌製麦酒」もご用意する予定です(館内限定)。

Q3

各事業の取り組み状況を踏まえつつ、2016年度の経営方針を簡単に教えてください。

A

**営業利益200億円超、当期純利益100億円超をコンスタントに続けられるステージの始まりの年としていきます。**

2016年を最終年度とする10カ年の「新経営構想」では、「高付加価値商品・サービスの創造」、「戦略提携の実施」、「国際展開の推進」、「グループシナジーの拡大」の成長戦略を掲げ、目標の達成に向けて取り組んできましたが、遺憾ながら、目標

とした売上高6,000億円には若干届かず、営業利益目標400億円の達成までには、なお時間がかかる見通しです。しかし、2016年度は、利益変動が大きかったこれまでの状況を脱し、営業利益200億円超、当期純利益100億円超をコンスタントに続けられる安定成長ステージの始まりの年になるものと確信しています。

国内酒類事業では、2016年度を「ビール強化元年」と位置づけ、「エビスビール」と「サッポロ生ビール黒ラベル」に徹底的に注力しながら、ワイン、洋酒、和酒、RTDなどの「多層化」展開を引き続き強化していきます。

国際事業では、北米のプレミアム市場において、スリーマンブランド、サッポロブランドの存在感を高め、さらに成長することを目指します。ベトナムではリニューアルが功を奏し、次のステージを歩み始めています。

食品・飲料事業では、レモン、スープを中心とした主力ブランドに今後も積極的な投資による新商品の開発やブランド強化を図っていきます。新たに参入した豆乳飲料・ヨーグルトの売上拡大を目指し、レモンと合わせて健康価値の発信を行っていきます。また、海外では、茶系飲料カテゴリとノンチルド果汁カテゴリでNo.1シェア\*を確立しているシンガポールに続き、インドネシアの新工場稼働やミャンマーのライセンス生産開始により、東南アジア全域への拡大につなげていきたいと考えています。

外食事業では、入居ビルが建て替えのため休業中の銀座・新橋の基幹店が開店するのに加え、引き続き収益構造改革を推し進めていきます。

不動産事業では、昨年実施した「恵比寿ガーデンプレイス」のバリューアップにより、街の魅力がさらに高まり安定した収益が期待できます。また、銀座の新たなランドマークとして「GINZA PLACE (銀座プレイス)」がこの夏開業を迎える予定であり、それに向けて着々と準備を進めています。



茶系飲料カテゴリ—No.1\*



ノンチルド果汁カテゴリ—No.1\*

**Q4** 最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

**A** 独自の「食品企業グループ」としての歩みを、次の10年へとつなげてまいります。

独自の「食品企業グループ」を形成していくというテーマのもと、国内外の成長分野を見極めながら自信をもって経営を推し進め、10年後の150周年に向けた次期長期経営構想へとつなげてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

\* データ出典：Nielsen Singapore MarketTrack December 2015 (Copyright © 2015, The Nielsen Company)

# 特集 創業140年のあゆみ

創業  
100周年

創業

株式上市

社名を「サッポロビール株式会社」に

1876

1949

1964

1976

## 国内酒類事業

(主力2ブランド中心に)



### 1876 サッポロビールのルーツ

- 1876 「開拓使麦酒醸造所」開業
- 1877 「札幌ビール」発売



### 1887 エビスビールのルーツ

- 1887 「日本麦酒醸造会社」設立
- 1890 「恵比寿ビール」発売

1956

## 「サッポロビール」復活



\*1949年の会社分割後の商品名は「ニッポンビール」でスタート

1971

## 「エビスビール」復活



\*サッポロビール技術陣の取り組みにより、日本で戦後初めて麦芽100%のドイツタイプのビールを発売

## 外食事業

1899

日本初のビヤホール  
「恵比壽ビヤホール」誕生

1934

現存する最古のビヤホール  
「ビヤホールライオン銀座七丁目店」創設

1949

日本共栄株式会社  
として設立

1979

社名を「株式会社サッポロライオン」  
に変更

## 食品・飲料事業

1909

清涼飲料水事業に進出、  
「シトロン」の製造販売を開始

1957

レモン飲料の製造販売を目的として  
ニッカレモン株式会社を設立

1972

ポッカコーヒー(缶入りコーヒー飲料)の製造販売を開始、  
翌年に自動販売機(ホット/コールド機)を開発し展開

## 国際事業

1964

米国向けにビールの輸出を開始

## 不動産事業

創業  
140周年  
記念

## 「サッポロガーデンパーク」リニューアル

### 当社の前身「開拓使麦酒醸造所」の 開業から140年

1876年に「開拓使麦酒醸造所」が札幌に開業。当初東京に建設するという開拓長官・黒田の決定を覆し札幌への建設に踏み切らせた村橋久成と、ベルリンビール醸造会社修業証書をもつ日本で初めてドイツでビール醸造を学んだ中川清兵衛の功績は大きい。サッポロビールの歴史はここに始まる。なお、麦酒醸造所のあった地は現在、全天候型大型複合商業施設「サッポロファクトリー」となっている。



### サッポロビール博物館

#### 4月21日、新装グランドオープン

サッポロビール博物館は、サッポロビール園とともにサッポロガーデンパーク内にある施設で、「北海道遺産」にも選定されている建物。明治の面影を残す歴史的建造物の赤レンガの外観はそのままだが、3階建ての内部を11年ぶりに全面リニューアル。北海道開拓という国策の中、若き先駆者たちが情熱を傾けてビールづくりに邁進していく歴史物語を迫

1977~

ロングセラー「黒ラベル」(お客様が名付け親)

1977(昭和52年)  
「サッポロくびん生」  
発売

1989(平成元年)  
「黒ラベル」が  
正式な商品名に



2012~

「2月25日\*」を「エビスの日」と制定  
\*エビスビール発売開始日



2014

極限まで追求した品質で提供する  
「パーフェクト黒ラベル」展開開始



1982

和風ビヤホール  
「安具楽」誕生

1999

創業100周年

2009

「エビスバー」  
誕生

2013

シンガポールの  
[SAPPORO LION (S) PTE. LTD]を子会社化

2014

「ビヤホールライオン狸小路店」  
開業100周年

1977

シンガポールに  
ポッカコーポレーション・シンガポールを設立

1980

缶スープを発売し、  
スープ事業に参入

2011

株式会社ポッカコーポレーションの  
株式を取得し子会社化

2012

食品・飲料事業の統合会社  
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社を設立

1984

米国に  
SAPPORO U.S.A., INC.を設立

2006

- カナダのSLEEMAN社の株式を取得し子会社化
- 国際事業を統括する事業会社  
サッポロインターナショナル株式会社を設立

2010

ベトナムの  
SAPPORO VIETNAM LTD.  
の株式を取得し子会社化

2011

ベトナム ロンアンに  
ビール工場竣工

1988

星和不動産管理株式会社  
(現サッポロ不動産開発株式会社)を設立

1993

札幌第一工場跡地に  
〈サッポロファクトリー〉開業

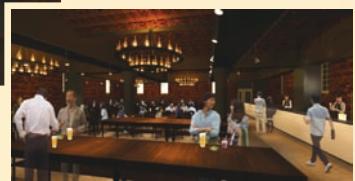
1994

恵比寿工場跡地に  
〈恵比寿ガーデンプレイス〉開業

力のワイド6K映像シアターや歴史的な資料をもとにご紹介します。またプレミアムツアー参加者だけが味わえるビール「復刻札幌製麦酒」が登場。明治9年の文献を参考に原料を配合し、明治14年当時の醸造方法をより忠実に再現し復活させたビールです。サッポロビールが受け継ぐ、ビールにかけた思いを是非、体感してください。



2F 展示スペース



テイastingコーナー

■ サッポロビール博物館

住所 〒065-8633  
北海道札幌市  
東区北7条東9丁目1-1

休館日 12月31日

※但し毎週月曜日(祝日の場合翌日)は2階自由見学のみの営業

## 「ビール強化元年」

2016年を「ビール強化元年」と位置付け、  
基軸ブランドを中心としたビール強化を推進



「サッポロ生ビール黒ラベル」は、発売以来こだわり続けてきた「生のうまさ」を徹底追求します。ブランド強化のために、2月下旬製造品から中味のブラッシュアップを行うとともに、4月12日には“旨さ長持ち麦芽<sup>(注1)</sup>”を初めて100%使用した派生商品「サッポロ生ビール黒ラベル エクストラブリュー」を全国発売します。

「エビスビール」は、「100年プレミアムブランド」としてより一層存在感を高めるため、クオリティアップし、3月15日に発売します。<sup>(注2)</sup> “香味バランス”を追求し、“より上質なコク”へ進化した、美しくきめ細かい泡のエビスをお楽しみください。

(注1) 旨さ長持ち麦芽:ビールの風味を劣化させる成分(LOX-1<ロックスワン>:脂質酸化酵素)を持たない大麦から生まれた麦芽(LOXレス麦芽=旨さ長持ち麦芽)

(注2) 瓶と樽生は2月上旬製造品より順次代替予定

サッポロ独自の強みを発揮するビールブランドの取り組みも強化



サッポロ ラガービール エーデルピルス 白穂乃香

2016年2月2日～リニューアル発売

## 「麦とホップ The gold」<sup>[ザ・ゴールド]</sup> リニューアル

麦とホップ史上最大<sup>(注1)</sup>の麦芽量で  
麦とホップ史上最高のコク<sup>(注2)</sup>を実現



発売以来、好評頂いている「サッポロ 麦とホップ The gold」は、厳選素材<sup>(注3)</sup>とこだわりの「ザ・ゴールド熟成製法<sup>(注4)</sup>」はそのままに、麦とホップ史上最大<sup>(注1)</sup>の麦芽量で麦とホップ史上最高のコク<sup>(注2)</sup>を実現しました。

パッケージは、「麦とホップ The gold」のロゴを大きくし、「Extra Malt」と赤いリボンをあしらうことで、素材へのこだわりをあらわすとともに、視認性向上を図ります。

進化を続ける「サッポロ 麦とホップ The gold」は、お客様により一層ご満足をいただくために、さらなる飛躍を目指します。

(注1) 麦とホップ The gold 通年販売商品において  
(注2) 麦とホップ The gold 通年販売商品における、原麦汁エキス濃度の比較において  
(注3) うまみ成分の多い「リッチゴールド麦芽」と品質が高いホップであるドイツ産の「ゴールデンアロマホップ」を一部使用  
(注4) 原材料の発泡酒の製造で採用している製法。当社通常発泡酒に比べ、熟成期間の基準を3割長く、また、2段階の温度管理を実施

## 「サッポロならではのオンリーワン新商品」続々登場!

### 商品・多層化開発センターが、技術や素材のイノベーションを引き出して、新しい価値を持った商品を開発

当社は、市場に新たな価値を提案するオンリーワンの商品づくりでイノベーションを起こし続けています。今年は特に若年層向けの新商品が充実! お酒を選ぶ際の選択肢を増やし、お客様にお酒をより身近に楽しんでいただけるよう提案していきます。

#### 国産初の“糖質ゼロ”ワイン「ボンヌサンテ糖質ゼロ」

国産ワインの健康系商品はどれも同じようなものばかり!と 思っていませんか? 3月29日に新発売した「ボンヌサンテ糖質ゼロ」は、国産ワイン初の“糖質0”という新たな価値を提案するオンリーワン商品。糖質が気になる方、ぜひお試しください!



ブランド担当:  
サッポロビール ワイン戦略部  
河野 あづさ

#### 「ウメカク 果実仕立ての梅酒」シリーズ

2015年9月に発売した「ウメカク ピンクグレープフルーツ」は、ターゲットの若年層に支持され、発売後8週間で当初売上目標の2万ケースを達成しました。2月には、女性に人気の白桃果汁を使用し、みずみずしい白桃の香りと梅酒の甘さが特長の「ウメカク 白桃」を発売。若年層のニーズを発掘し、ラインナップを充実させていきます。



ブランド担当:  
サッポロビール スピリッツ戦略部  
野村 祥子

#### 「モヒート」に続く新提案「ラムハイ」

バカルディラムの提案がきっかけで「モヒート」は定番カクテルへと成長しました。当社はバカルディの魅力をさらに広げるため、業務用・家庭用の両市場でバカルディラムのハイボールである「ラムハイ」を提案します。すっきりした味わいで食事に合う「ラムハイ」は、気持ちも食欲もアップする新しいハイボールです。



ブランド担当:  
サッポロビール スピリッツ戦略部  
関口 智之

## 「グッドデザイン賞2015」受賞

### 購入しやすく、持ち運びしやすい点が評価され、受賞

通信販売向けに開発した「10缶入りカートン」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「グッドデザイン賞」\*を受賞しました。



このカートンの第1の特長は「10缶」という入数です。ビール類には、一般に24缶入りのカートンが使われています。今回は、購入しやすく、かつ今までにない入数としました。第2の特長は、二重包装なしでも通信販売に対応できる資材仕様です。これによってブランドイメージをお客様にしっかり伝え、さらに環境負荷を低減することが可能となりました。



サッポロビール  
商品・技術イノベーション部  
パッケージング技術開発センター  
武井 義明

\*グッドデザイン賞:「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちのくらし、産業、社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした「総合的なデザインの推奨制度」

サッポロ  
インターナショナル

# 「サッポロベトナム」100%子会社化

2015年9月11日

ベトナム市場への本格進出から3年、  
いよいよ新たなステージへ

サッポロインターナショナル(株)は、9月にベトナム事業の合弁相手であるビナタバ社の出資持分29%を譲り受け、同社への出資持分を100%としました。11月には主力商品の「サッポロプレミアム」をよりスタイリッシュなデザインにリニューアルをし、ますます現地でのプレゼンスを高めています。

「サッポロプレミアム」  
リニューアル



2015年11月1日より  
販売開始

サッポロ  
インターナショナル

シンガポール  
通信



## Sapporo Asia Private Limited シンガポール事務所設立

10月、シンガポールに駐在員を派遣。すでに現地での長い歴史と圧倒的なマーケットシェアを持つPOKKA社とコラボを強化しながら、伸び行くアジア市場の拠点として、活用していきます。



Sapporo Asia Private Limited  
シンガポール事務所

高久 広治



## ミャンマーでのPOKKA ブランドライセンス生産開始

2016年  
稼働予定

ポッカコーポレーション・シンガポール社が  
現地企業とライセンス生産契約締結

今後の経済成長が期待されるミャンマーにおいて、現地代理店グループが、POKKAブランドの果汁製品のライセンス生産を行う工場を建設中です。2016年からの操業開始により、ミャンマーでのPOKKAブランドのさらなる認知度アップを目指します。



ミャンマー量販店等で売上げ好調商品  
「Pulp C」販促用ポスター



現地代理店グループによる工場起工式の様子

## 「とん吉銀座食堂」

2015年11月16日グランドオープン

長く愛されたブランドをブラッシュアップ  
新ブランドとなるとんかつ専門店をオープン

シンガポールで約22年にわたり愛されている総合和食店「とん吉」の中でも最も人気の高い商品「とんかつ」にメニューを絞り込み、より専門性を高めたブランド「とん吉銀座食堂」を上げました。日本食人気が高まる今、「リーズナブルな専門店」としてお客様から選ばれるお店を目指します。



## 「インドネシア新工場」

2016年稼働予定

現地代理店と合併会社設立、インドネシア国内で飲料製造工場を建設中

2015年3月に「ポッカコーポレーション・シンガポール社」と「PT DIMA INDONESIA社」との間で、清涼飲料の製造・販売を行う合併会社を設立し、2016年の工場稼働を目指して準備をすすめています。



インドネシア新工場の完成予定図

## 「春の新品」市場へ続々投入!

### 「富良野ラベンダーティー」

富良野産ラベンダーを使用した新リラックス&リフレッシュティーの誕生! ラベンダーの華やかな香りがほのかに楽しめる、爽やかで飲みやすい味わいです。



### 「サンバゾンアサイー」

全米NO.1\*アサイーブランド「サンバゾン」からアマゾンのスーパーフード“アサイー”を使用した「サンバゾンアサイーアマゾンエナジー(左)」と「サンバゾンアサイーミックスビューティー100%(右)」が新発売!



\*SPINS社 Category Overview Report 2014/10/05-2015/10/04 FRUIT JUICES (NON-ORANGE), RF FUNCTIONAL JUICES & BEVERAGES, FROZEN FRUITS & VEGETABLES 調査結果より上記カテゴリにおいてアサイーを含むドリンクおよび冷凍パックの売り上げ(金額)をNo.1としています

### 「スパイスワールド」**「辛王」**

エスニックメニューを中心に世界各国のスープを楽しむ「スパイスワールド」ブランド(左)、様々な辛いメニューを楽しむ、辛さを追求したスープ「辛王」ブランド(右)が新登場!



### 「豆乳で作ったヨーグルト」**「豆乳飲料」**

当社はこの春から、本格的に豆乳事業に取り組みます。お客様の健康志向、自然志向の高まりに対応した豆乳商品の開発やマーケティング活動を実施し、豆乳市場を盛り上げていきます。



## 「にっぽん烏龍」

フードアクション  
ニッポン(FAN)アワード\*  
優秀賞受賞



「にっぽん烏龍」は、国産茶葉を100%使用した日本品質の烏龍茶です。静岡県産と屋久島産茶葉をブレンドし、苦みや渋みが少ないすっきりとしたおいしさを引き出しています。本場の製法にこだわり、中国の烏龍茶製法を国内の工場再現して国産烏龍茶葉を生産するなど、国産農林水産物の消費拡大に寄与した点を評価いただきました。今春も、国産素材を活かした新品を発売しますので、ぜひともご賞味ください!

ブランド担当:  
ポッカサッポロフード&ビバレッジ  
マーケティング本部  
飲料戦略グループ

鶴谷 哲司



\*フード・アクション・ニッポン(FOOD ACTION NIPPON)アワードは、2009年に始まった制度で、国産農林水産物の消費拡大に寄与する事業者・団体等の優れた取り組みを部門別に表彰

2015年12月3日グランドオープン

# 「GRANDE POLAIRE WINEBAR TOKYO」

(グランポレール ワインバー トーキョー)

日本ワイン「グランポレール」  
初のコンセプトショップを銀座にオープン



GRANDE POLAIRE WINEBAR TOKYO(グランポレール ワインバー トーキョー)は、「グランポレールを通じて、食とワインの共演、つくり手の情熱、心からの笑顔と充実の時間に出会い、日本ワインの魅力を発見できるワインバー」を目指したお店です。メニューコンセプトは「銀座にしながら4つの産地を旅する」です。北海道・長野・山梨・岡山



ワイン事業のフラッグシップブランド  
「グランポレール」

「北海道・長野・山梨・岡山」の4つの産地のぶどうの個性を活かして造られています

の産地のぶどうから造る品種・風味ともに多彩なグランポレール全アイテムをご用意。またそれぞれの産地にゆかりのある食材を使用した料理など、料理とワインのマリアージュを提案し、日本ワインの魅力との出会いを演出します。

# 「GINZA PLACE」2016年夏開業予定

(銀座プレイス)

銀座に新たな  
ランドマーク誕生



「GINZA PLACE(銀座プレイス)」は、銀座の中心である四丁目交差点の一角に建設中の複合商業施設で、「FREWORK(透かし彫り)」をモチーフに伝統工芸の持つ美しさを表現した、柔らかくエレガントな外観デザインが特徴です。施設の地下1階、2階には、サッポロライオンが飲食店をオープンする予定で、本年夏の開業を目指しています。ますます発展を続ける銀座において、さらなる街の活性化と賑わいの創出に寄与するべく、銀座のランドマークに相応しい新たな情報発信の拠点、交流の場となる施設を目指していきます。

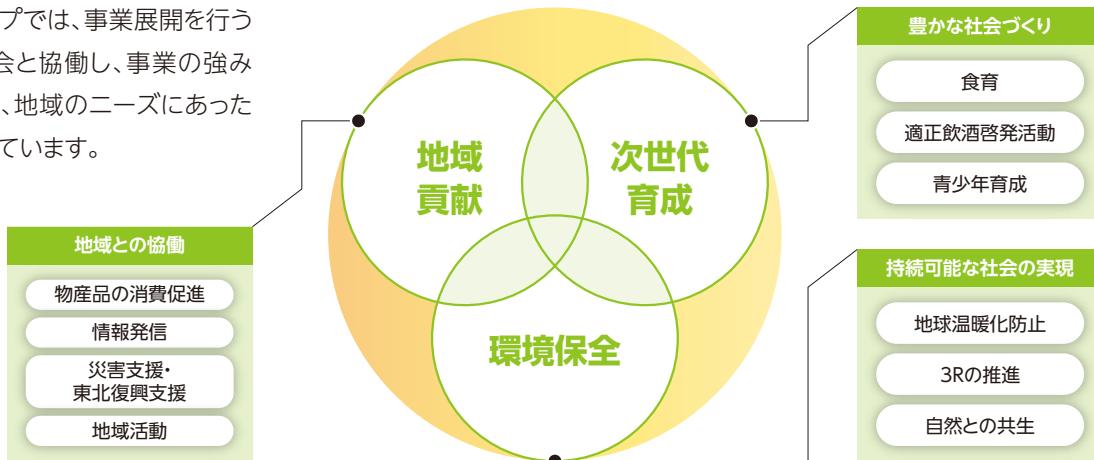
サッポロ不動産開発  
アセットマネジメント事業本部  
銀座開発部

岡 麻由子



# サッポロの地域・社会貢献活動

サッポログループでは、事業展開を行う国や地域の社会と協働し、事業の強みを活かしながら、地域のニーズにあった取り組みを行っています。



## 次世代育成 (豊かな社会づくり)

### 大学で開催 「適正飲酒啓発セミナー」

酒類を扱う事業を有するサッポログループでは、学生が社会に出てお酒と健康的に楽しく付き合えるよう、グループの社員を講師として派遣しセミナーを開催しています。昨年は首都圏の5つの大学で開催しました。



セミナー風景

## 環境保全 (持続可能な社会の実現)

### 北海道の 森林保全を支援

サッポログループでは北海道、生活共同組合コープサッポロと「北海道の森を元気にしよう!」共同キャンペーンを実施し、ビール4商品、ワイン2商品、飲料水1商品の売り上げの一部で、一定量のCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットし、北海道の森林を保全する取り組みを応援しています。



キャンペーン  
対象商品

## ビール文化の情報発信と災害支援

毎年サッポログループと歴史的にかかわりの深い「札幌」と「恵比寿」において「札幌麦酒祭り」「恵比寿麦酒祭り」を開催しビール文化の情報発信を行っています。またビールの売上を北海道の地域活動、東北復興支援に寄付しています。



恵比寿麦酒祭り 約22万人ものお客様がご来場

### グループの東北復興支援

#### 東北の将来を担う被災地子どもへの “学習支援”と“心のケアを行う場所づくり支援”

「恵比寿麦酒祭り」での生ビールの売上金の全てを東北復興支援に寄付しています。その一部を震災直後から継続して被災地の「コラボ・スクール」(放課後学校)の運営支援を行っています。



NPOカタリバが運営するコラボ・スクール「大槌臨学舎」

## 札幌でのドイツ領事業務 ～日独の友好関係に協力～

オクトーバーフェストで有名なミュンヘン市と姉妹都市である札幌において、ビールの国ドイツの方々のために、サッポロビールでは北海道本社代表が領事業務を執り行う「名誉領事」に任命され、毎年数百件の手続きを行っています。



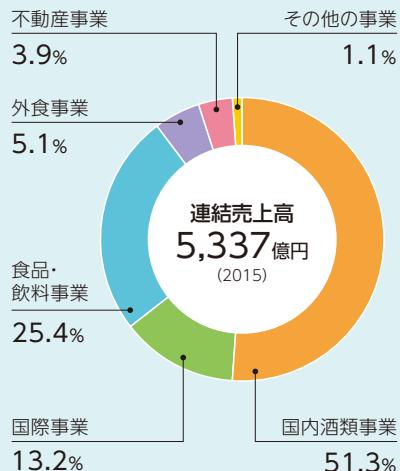
任命書にサインする生方誠司北海道本社代表



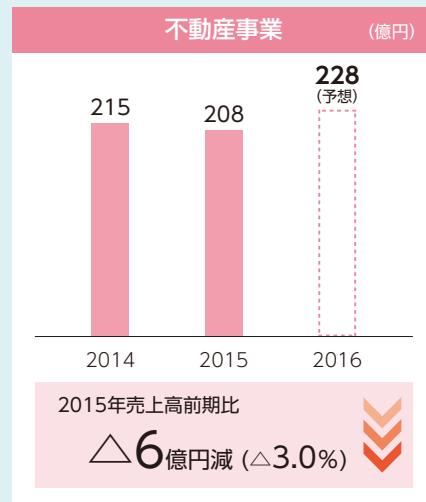
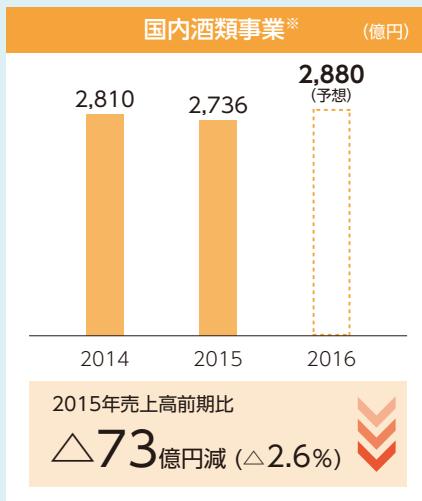
ドイツ大使館での名誉領事任命式典

# 事業の概況／連結決算概要

## ■ セグメント別売上高構成比



## ■ セグメント別売上高



※ 2015年度から、従来「国内酒類事業」に区分しておりました「㈱ニュー三幸」を「外食事業」に変更しております。これに伴い、2014年度は、遡及適用後の金額となっております。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

🔍 サッポロ IR

検索

## ■ 連結財務ハイライト (億円)

	2014	2015	2016 (予想)
売上高	5,187	5,337	5,654
営業利益	147	139	211
経常利益	145	132	202
当期純利益	3	61	105
総資産	6,254	6,203	—
純資産	1,600	1,638	—
自己資本比率 (%)	25.0	25.5	—

## 財務の状況

### 総資産

カンントリーピュアフーズ社の新規連結による増加はありましたが、一部賃貸不動産の売却による固定資産減少等があったため、前連結会計年度末と比較して50億円減少し、6,203億円となりました。

### 負債

短期借入金の増加はありましたが、長期借入金の返済が進んだため、前連結会計年度末と比較して88億円減少し、4,565億円となりました。

### 純資産

期末配当の実施や為替換算調整勘定の減少等がありましたが、当期純利益の増加やその他有価証券評価差額金の増加等によって、前連結会計年度末と比較して38億円増加し、1,638億円となりました。

## 損益の状況

### 売上高

国際事業でのカンントリーピュアフーズ社の新規連結や、食品・飲料事業での国内飲料の売上数量が増加したことに加え、為替の影響もあったことから、前期と比較して150億円増収となりました。

### 営業利益

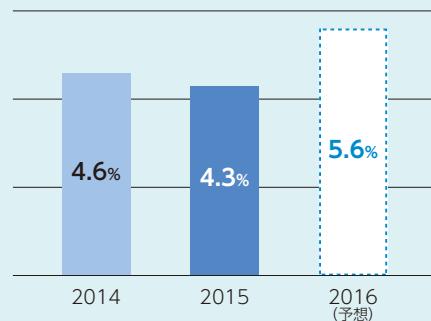
食品・飲料事業、外食事業、不動産事業で増益となりましたが、国内酒類事業でのビール類の減収による減益をカバーできず、前期と比較して7億円の減益となりました。

### 当期純利益

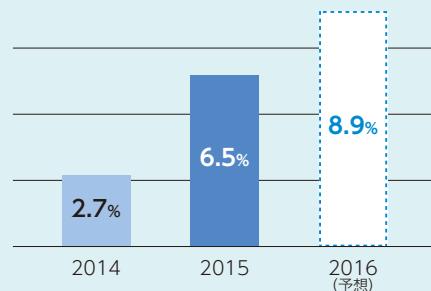
特別利益に固定資産売却益を74億円計上する一方、特別損失に減損損失59億円を計上しました。前期は、国内酒類事業で「極ZERO」の税率適用区分を自主的に修正申告したことに伴う酒税追加支払額等116億円を特別損失に計上したこともあり、前期と比較して57億円の大幅増益となりました。

## ■ 経営指標の推移

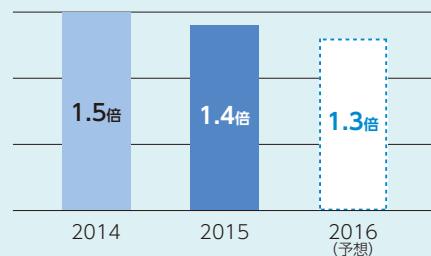
### 営業利益率 (のれん償却前・酒税抜き)



### ROE (のれん償却前)\*1



### D/Eレシオ (Net)\*2



\*1 ROE: 自己資本利益率 \*2 D/Eレシオ: 負債資本比率

# 会社情報 / 株式情報 (2015年12月31日現在)

## ■ 会社概要

商号	サッポロホールディングス株式会社 SAPPORO HOLDINGS LIMITED
設立	1949年9月1日(創業明治9年)
資本金	53,886,649,941円
事業内容	持株会社
連結対象会社数	56社(連結子会社54社、持分法適用会社2社)
従業員数	117名(グループ従業員数:7,484名)
本社	〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号 (恵比寿ガーデンプレイス内)

## ■ 株式の状況

発行済株式の総数 … 393,971,493株

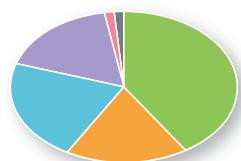
株主数 ……………… 55,626名

## ■ 大株主 (上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,247	4.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,387	3.91
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	12,212	3.10
日本生命保険相互会社	11,146	2.83
明治安田生命保険相互会社	10,434	2.65
農林中央金庫	9,375	2.38
株式会社みずほ銀行	9,032	2.29
丸紅株式会社	8,246	2.09
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	7,970	2.02
大成建設株式会社	7,000	1.78

※ 上記大株主の状況は株主名簿によっています。

## ■ 所有者別株式分布状況



金融機関	161,240千株 / 40.93%
外国法人・個人	68,684千株 / 17.43%
個人	85,907千株 / 21.81%
国内法人	67,757千株 / 17.20%
証券会社	5,929千株 / 1.50%
自己株式	4,451千株 / 1.13%

## ■ 役員 (2016年3月30日現在)

代表取締役社長兼 グループCEO	上條 努	
常務取締役	渡 淳二	
常務取締役兼 グループ執行役員	溝上 俊男	サッポログループマネジメント株式会社 代表取締役社長
取締役	野瀬 裕之	戦略企画部長
取締役	征矢 真一	経営管理部長
取締役	福原 真弓	人事部長
取締役(社外)	服部 重彦	株式会社島津製作所 相談役 田辺三菱製薬株式会社 社外取締役 プラザー工業株式会社 社外取締役 明治安田生命保険相互会社 社外取締役 株式会社日本経済新聞社 社外監査役
取締役(社外)	池田 輝彦	みずほ信託銀行株式会社 顧問 株式会社エフエム東京 社外監査役 日本精工株式会社 社外取締役
取締役(社外)	鵜澤 静	日清紡ホールディングス株式会社 代表取締役会長 日本無線株式会社 取締役 新日本無線株式会社 取締役 長野日本無線株式会社 取締役 株式会社日本政策金融公庫 社外取締役
常勤監査役	尾崎 聖治	
監査役	関 哲夫	株式会社商工組合中央金庫 名誉顧問 株式会社みずほフィナンシャルグループ 社外取締役
監査役(社外)	佐藤 順哉	石澤・神・佐藤法律事務所 弁護士 株式会社ニッキ 社外取締役 三井金属鉱業株式会社 社外取締役 大正製薬ホールディングス株式会社 社外監査役
監査役(社外)	杉江 和男	DIC株式会社 相談役
グループ執行役員	尾賀 真城	サッポロビール株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	國廣 喜和武	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	刀根 義明	株式会社サッポロライオン 代表取締役社長
グループ執行役員	生駒 俊行	サッポロ不動産開発株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	立山 正行	東南アジアエリア統括
グループ執行役員	岸 裕文	北米エリア統括

## 第92回 定時株主総会決議ご通知

第92回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 記

#### 報告事項

1. 第92期(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第92期(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)計算書類報告の件

#### 決議事項

##### 第1号議案 剰余金の配当の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当は1株につき7円と決定しました。

##### 第2号議案 株式併合の件

本件は、原案のとおり承認可決され、平成28年7月1日を効力発生日として普通株式5株を1株に併合することが決定しました。

##### 第3号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。なお、定款変更の概要は以下のとおりです。

- (1) 株式併合に伴い、平成28年7月1日をもって、発行可能株式総数を10億株から2億株に変更するとともに、当社株式の売買単位を100株に変更するため、単元株式数を1,000株から100株に変更します。
- (2) 会社法改正を受け、従来の社外取締役及び社外監査役に限らず、業務執行取締役等を除く取締役及び監査役とそれぞれ責任限定契約の締結ができるようにしました。
- (3) 最適な経営体制の機動的な構築を可能とするため、取締役だけでなく、グループ執行役員からも社長を選定できるように変更しました。
- (4) 株主総会の開催場所についてより広い選択肢が確保できるように、株主総会の招集地を限定する現行定款の条文を削除しました。

##### 第4号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案のとおり、取締役を上條努、渡淳二、溝上俊男、野瀬裕之、征矢真一、福原真弓、服部重彦、池田輝彦、鶴澤静の9氏が再選され、それぞれ就任しました。なお、服部重彦、池田輝彦、鶴澤静の3氏は社外取締役であります。

##### 第5号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案のとおり、監査役に関哲夫、佐藤順哉の2氏が選任されました。なお、佐藤順哉氏は、社外監査役であります。

##### 第6号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり、補欠監査役に矢田次男氏が選任されました。なお、同氏は社外監査役の補欠監査役として選任されております。

##### 第7号議案 取締役に対する株式報酬等の額及び内容決定の件

本件は、原案のとおり、当社の取締役及びグループ執行役員並びに一部当社子会社の取締役(以下、グループ対象役員。社外取締役を除きます。)の報酬について、新たな株式報酬制度(以下、本制度)を導入することを決定しました。本制度の概要は、当社がいったん拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、グループ対象役員に対して、当社及び当社子会社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式等が信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、グループ対象役員が当社株式等の給付を受ける時期は、原則としてグループ対象役員の退任時とします。

以上

## 株式併合及び 単元株式数の変更に関するご案内

当社は、本定時株主総会において、平成28年7月1日をもって当社普通株式5株を1株に併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更することについて承認いただきました。

なお、この株式併合及び単元株式数の変更に伴う株主様による事前のお手続きについては、特段の必要はありません。

#### 主なスケジュール

- 平成28年6月27日  
1,000株単位での売買最終日
- 平成28年6月28日  
100株単位での売買開始日
- 平成28年7月1日  
株式併合及び単元株式数の  
変更の効力発生日

#### 株式併合に関するお問い合わせ先

株式併合に関するご不明な点は、お取引先の証券会社または次頁に記載の株主名簿管理人までお問い合わせください。

#### 株式併合による影響等

株式併合により、発行済株式総数が5分の1に減少することとなりますが、純資産等は移動しませんので、1株あたりの純資産は5倍となり、株式市況の変動などの他の要因を除けば、当社株式の資産価値に変動はありません。

#### 1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配いたします。なお、端数株式の処分代金及びお手続きにつきましては、平成28年9月上旬頃、ご案内させていただく予定にしております。

## ■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
配当金受領の株主確定日	12月31日及び中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(第一部)、札幌
証券コード	2501
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 同連絡先	みずほ信託銀行株式会社証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 (フリーダイヤル)0120-288-324 (ご利用時間:土・日・祝祭日を除く9:00~17:00) 専用ホームページ“お手続き内容”で一部届出紙の出力ができます。 <a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/</a>
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ <a href="http://www.sapporo-holdings.jp/">http://www.sapporo-holdings.jp/</a> といたします。 ただし、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
特別口座	特別口座とは、株券電子化前に証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が上記のみずほ信託銀行株式会社に開設した口座のことをいいます。

### 株式事務に関するご案内

#### 証券会社でお取引きをされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

#### 特別口座に記録されている株式をお持ちの株主様

お手続き お問い合わせ先	<特別口座の口座管理機関> 左記の株主名簿管理人 (みずほ信託銀行株式会社証券代行部) <取次所> みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ※トラストラウジでは、お取扱できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きが必要となります。 ※単元未満株式の買取・買増請求は特別口座のままでも可能です。詳しくは、上記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社証券代行部)にお問い合わせください。

※未払配当金のお支払いにつきましては、両株主様ともに上記の取次所が承ります。  
※未払配当金のお支払いのうち、配当金領収証のお受け取りにつきましては、上記取次所に加え、株式会社みずほ銀行の本支店でも承ります。

## CM 紹介

この上ない、幸せ。  
この上ない、エビス。



## この上ない、幸せ。 この上ない、エビス。

100年以上の歴史を持ち、この国のビール文化を支えてきたエビスビール。ビール純粹令に則り、麦芽100%、厳選したホップ、水など原材料・製法にこだわってきたエビスがさらにクオリティアップし、その品質に磨きをかけ登場。

今回のテレビCMでは、そのクオリティアップしたエビスを滝川クリステルさん、そして新たに井ノ原快彦さんを加え、華々しいデビューをパーティーの舞台で描いています。

コピーは「この上ない、幸せ。この上ない、エビス。」

ビールで人を幸せにしたい、という志をずっと持ち続けてきたエビスだからこそ、これからもその美味しさに磨きをかけ、皆様の幸せな生活に寄り添える存在であるということを訴求しています。中味のクオリティアップだけに止まらず、パッケージも洗練されたデザインとなっているのでご注目ください。



発行者：サッポロホールディングス株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)